

施策 3-1 子ども教育の推進

<対応する主な SDGs>



<基本方針>

- 学校、PTA、地域が連携・協働し、地域資源を活かして教育力を向上することにより、子どもたちが自立的に生き、社会の形成に参画するために求められる資質・能力と郷土愛を育みます。

<現状と課題>

- ここ数年の各種学力調査の結果は、小・中学校ともに全国平均程度ですが、教科間や学年間での差が見られます。また、体力面では、小・中学校とも概ね良好な状況です。
- 自己肯定感の醸成及び将来の夢や目標をもつことを目指し、キャリア・パスポートの取り組みや、中学校では課題解決型職場体験を実施しています。しかし、将来の夢や目標について「もっている」の回答率は全国平均より低いです（小学校－4% 中学校－10.7%）。また、中学校では自己肯定感に関する肯定的評価の割合が、全国平均より低い状況です（－2.3%）。
- 家庭においては、スマートフォンの長時間利用など生活習慣の乱れがあります。一方で、地域行事や地域の人と関わる活動への参加意識は高く、佐渡学等地域素材を生かした学習の成果が出ています。子どもたちを取り巻く環境が複雑化・困難化する中では、今後も学校・家庭・地域が一体となった取り組みを充実させる必要があります。

<関連計画等>

- 佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画

写真、図、グラフ等

<施策の展開>

1. 学ぶ意欲を高め確かな学力等を育成する教育の推進

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■学力等に関する各種調査の結果分析を確実に実施し、佐渡市及び各小中学校の課題を明らかにするとともに、課題解決を図ります。 ■ICT機器を効果的に活用し、個別最適な学び・協働的な学びとなる「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図ります。 		
主な事業	標準学力検査NRT、ICT教育に係る研修会		
目標値	成果指標	現況値 (R1)	目標値 (R8)
	標準学力検査NRTで偏差値50以上の教科の割合	小学校 84% 中学校 62%	小学校 90% 中学校 80%

※標準学力検査NRT：全国で標準化された検査であり、学習指導要領の学力内容に応じた出題で、基礎的・基本的な力や活用する力を全国学力水準（偏差値）と比較し、今後の学習状況の改善に役立てるものです。

2. 郷土愛を軸にしたキャリア教育の推進

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■佐渡市学校教育における「キャリア教育グランドデザイン」に基づき、各学年に応じたキャリア教育を実施します。 ■小学校では、地域をフィールドとした体験活動を通し、郷土への誇りと愛着に向け取り組みます。 ■中学校では、職場体験活動を充実させ、課題対応能力やキャリアプランニング能力の形成に向け取り組みます。 		
主な事業	課題解決型職場体験		
目標値	成果指標	現況値 (R1)	目標値 (R8)
	自己肯定感の肯定的評価	小学校 83% 中学校 72%	小学校 85% 中学校 75%

3. 家庭・地域の教育力の充実

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■学校運営協議会と地域学校協働本部を一体的に推進します。 ■地域資源を活かした良い学びを推進します。 		
主な事業	学校運営協議会事業		
目標値	成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)
	学校運営協議会で話された課題解決に向けた地域学校協働活動の実施	29%	90%

<役割分担や協力の考え方>

市民・団体等	事業者等	行政
<ul style="list-style-type: none"> ■子ども達を地域全体で見守り、育てましょう。 ■地域学校協働活動や地域資源活用に協力しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ■職場体験活動の受入りに協力しましょう。 ■見学学習等に協力しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ■市民・事業者等への理解と協力が得られるよう取り組みます。

施策 3-2 学校教育環境の整備

<対応する主な SDGs>



<基本方針>

- 相談支援体制の充実や施設・設備の維持・充実、大学や研究機関との連携によって、児童生徒が安心して学校生活を送り、質の高い教育を均等に受けることができる環境を目指します。

<現状と課題>

- 「佐渡市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、即時対応を図るための体制づくりに取り組んでいます。各学校のいじめの積極的認知により、認知件数は増加傾向ですが、組織的な即時対応がなされています。しかし、小学校で新規不登校の増加（R2 発生前年度比 +0.4%）が見られたり、いじめを起因として不登校につながる事案（R2 2件）も発生したりしています。引き続き子どもたちの不安に寄り添っていく必要があります。
- 児童生徒の安全・安心な学校環境を整備するため、平成 31 年 3 月に令和 2 年度から令和 11 年度までを計画期間とする「佐渡市学校施設長寿命化計画」を策定したほか、令和元年度から令和 2 年度にかけて市内全小中学校の全ての普通教室に空調設備を設置するなど設備の充実に取り組んできました。
従来の更新サイクルを見直し、長寿命化によるコストの大幅な縮減は可能ではあるが、過去 5 年間の施設関連経費 16.1 億円／年に対して、全ての建物を長寿命化したとしても今後 40 年間の施設整備費の平均が 18.8 億円／年ほどとなる試算結果を踏まえ、施設整備費を抑制することが課題です。
- 小中学校等と大学や研究機関が連携し、大学教授による授業等を通して、島内教諭の授業改善の研修とするなど、効果を上げています。今後も、各学校への働きかけやオンライン機器の活用を含め、より積極的な実施を進めるとともに、大学関係者や大学生等を積極的に招致し交流する教育活動を広げることが重要となります。

<関連計画等>

- 佐渡市教育大綱及び佐渡市教育振興基本計画
- 佐渡市学校施設長寿命化計画

写真、図、グラフ等

<施策の展開>

1. 安全・安心な学校づくり

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■児童生徒や保護者の信頼に応える、いじめ解消を含めた校内相談・支援体制の充実と、教職員の資質・指導力の向上を図ります。 ■子ども若者相談センターと連携しての重点校支援など、関係機関との連携により、困り感をもつ子どもへの支援を進めます。 								
主な事業	教育支援センターの整備								
目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>現況値 (R1)</th> <th>目標値 (R8)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>学校に行くことが楽しいと思う割合</td> <td>小学校 84.5% 中学校 79.0%</td> <td>小学校 90% 中学校 85%</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	現況値 (R1)	目標値 (R8)	学校に行くことが楽しいと思う割合	小学校 84.5% 中学校 79.0%	小学校 90% 中学校 85%		
成果指標	現況値 (R1)	目標値 (R8)							
学校に行くことが楽しいと思う割合	小学校 84.5% 中学校 79.0%	小学校 90% 中学校 85%							

2. 学校施設の維持管理

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■予防保全を実施するため、日常点検・定期点検結果を把握し、緊急性を加味しつつ、効率的かつ計画的に修繕を行います。 ■佐渡市学校施設長寿命化計画に基づき、施設の長寿命化を図ります。 								
主な事業	小中学校 長寿命化整備事業								
目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>現況値 (R2)</th> <th>目標値 (R8)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>佐渡市学校施設長寿命化計画に基づく改修の件数</td> <td>0 件</td> <td>11 件</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)	佐渡市学校施設長寿命化計画に基づく改修の件数	0 件	11 件		
成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)							
佐渡市学校施設長寿命化計画に基づく改修の件数	0 件	11 件							

3. 高等学校・研究機関等との連携強化

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■大学や研究機関と連携し、その関連施設や職員を活用した教育活動を実施します。 								
主な事業	教職大学院等遠隔研修事業、学習意欲向上プロジェクト								
目標値	<table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標</th> <th>現況値 (R2)</th> <th>目標値 (R8)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合 (小・中)</td> <td>66%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>	成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)	大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合 (小・中)	66%	80%		
成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)							
大学や研究機関の関連施設や職員を活用した教育活動を実施している割合 (小・中)	66%	80%							

<役割分担や協力の考え方>

市民・団体等	事業者等	行政
<ul style="list-style-type: none"> ■互いに連携し助け合い、地域全体で子どもを育てられるよう取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校との協働により、より良い学びの場を提供できるよう取り組みましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ■学校と地域団体、大学など個々の様々な取り組みを共有し、マッチング出来る環境を整えます。

施策 3-3 生涯学習の推進

<対応する主な SDGs>



<基本方針>

- 子どもから高齢者まで多くの人々の学習ニーズに応え、様々な地域活動や多様な学びの機会を構築するとともに、佐渡の豊かな伝統文化・芸術を継承し、互いが支え合う、心豊かな人づくり・地域づくりを目指します。

<現状と課題>

- 人口の減少や少子高齢化などの大きな社会状況の変化に伴い、公民館講座数や学習機会は減少していますが、公民館自主講座団体の登録件数は微増し、学習意欲そのものは高まっています。そのため、学習したい人が生涯にわたり学習でき、その成果を活かすことのできる学習社会を構築し、地域で学び、学んだ成果を地域に生かす人づくり、地域づくりを進めていくことが重要です。

公民館講座数 (H20 31 講座 R2 26 講座) 公民館講座実施回数 (H20 275 回 R2 118 回)
公民館自主講座数 (H20 248 講座 R2 286 講座)

- 子供を取り巻く環境の変化に伴い、日帰り体験活動の減少や、親元を離れて子どもたちだけで過ごすキャンプなどの自然体験活動を実施しておりません。体験活動を通じて主体性や協調性、自立心や規範意識など、豊かな人間性や社会性を育み「生きる力」を身に着けることが必要です。
- 美術・芸術活動の取組者が減少傾向にありますが、芸術・文化活動を活発にするため、情報の収集と提供に努め、本格的な芸術・文化に触れることで新たに活動する人を育成いたします。さらに、指導者の確保と養成が必要である。
佐渡市美術展覧会出品者数 (H27 216 人 R1 203 人)

<関連計画等>

- 佐渡市生涯学習推進計画

写真、図、グラフ等

<施策の展開>

1. 学習機会の充実

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■幅広い学習機会の提供と充実、ICTを活用した講座等を開設するとともに、多様化・複雑化・高度化する課題に対応する教育人材を育成します。 ■「学びの場」が子どもから高齢者まで多くの人々へ行き渡るよう学習関連施設の有効活用や学習支援・相談体制の整備に取り組みます。 		
主な事業	各種講座、県生涯学習情報提供システム活用、放送大学提供システムの活用、ジュニアリーダーの育成、人材バンクの整備、生涯学習関連施設の活用、学校体育館開放事業		
目標値	成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)
	生涯学習事業参加者数	5,387人	13,000人

2. 地域づくりの推進

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの豊かな人間性や自ら学び自ら考える力を育むため、自然体験活動や異年齢集団による活動・交流などの子どもの体験活動を推進します。 ■公民館や分館を核にした様々な地域活動や多様な学びに取り組むグループ活動を推進します。 		
主な事業	青少年健全育成活動、放課後子ども教室子ども会連絡協議会活動、公民館講座、自主講座、サークル活動発表会		
目標値	成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)
	青少年健全育成事業参加者数	7,580人	14,000人

3. 芸術・文化の推進

主な取り組み	■芸術・文化の推進や心身の健康増進に向け、文化祭や各種講座などを推進します。		
主な事業	美術展覧会・公民館文化祭の実施、芸術・文化講座「		
目標値	成果指標	現況値 (R1)	目標値 (R8)
	市展出品点数	237点	250点
	人材バンク登録者数	16人	20人

<役割分担や協力の考え方>

市民・団体等	事業者等	行政
■率先して分館活動や運動会等に参加し、多世代との交流や健康増進に努めましょう。	■事業者が積極的に文化活動やスポーツ活動に参加できる環境を整えましょう。	■総合的な学びの場の創出や、またその取り組みに参画する団体や指導者への支援を行ないます。

施策 3-4 スポーツの推進

<対応する主な SDGs>



<基本方針>

- 市民の誰もがそれぞれの体力、技術、年齢、趣味など目的に応じて、週1回以上、気軽にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

<現状と課題>

- 佐渡市の子どもの肥満の割合は、県平均と比べて幼児・小・中・高校生全ての年代で高くなっています。また、親子で一緒に遊ぶことが、ほとんどない家族が40%を超えてきており、親世代の運動不足との関連もあると予測され、親子で遊ぶ機会の創設が必要です。
- 平成30年度の佐渡市の週1回以上のスポーツ実施率は21.5%であり、平成17年度調査の30.3%から下降しています。市民が、スポーツに参加する動機付けとして、ライフスタイル、志向、目的に応じたスポーツをする機会の充実を図ることが必要です。
- 週1回以上のスポーツ実施率が低いことから、誰もが気軽にスポーツに親しむことができるよう、地区教育事務所・地区スポーツ（体育）協会・公民館活動の連携と、指導者育成による幅広い事業運営をすることで市民参加を促すことが必要です。

【参考】週1回以上のスポーツ実施率(H30) 佐渡市21.5% 県40.7% 国55.1%

※課題解決に取り組むことにより、佐渡市の週1回以上のスポーツ実施率を21.5%(R3)から25%(R8)に上昇させることが目標

<関連計画等>

- 佐渡市スポーツ推進計画

写真、図、グラフ等

<施策の展開>

1. 「育てる」スポーツの推進

主な取り組み	■スポーツの習慣化を図るため、親子、家族で参加できる体験的なスポーツ、体力向上や肥満防止の運動を推進し、幼稚園、保育園、小・中学校等と連携してその定着を図ります。		
主な事業	幼児期の身体活動の推進、学童期のスポーツ活動の推進、中学生の部活動と社会スポーツの連携		
目標値	成果指標	現況値 (R3)	目標値 (R8)
	親子スポーツ教室参加数	113 人	200 人

2. 「健康」スポーツの推進

主な取り組み	■ライフステージに沿った健康づくり・スポーツを推進し、健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目指します。		
主な事業	青年・成人期のスポーツ推進、高齢者のスポーツ推進、障がい者それぞれに応じた生涯にわたるスポーツ推進、公民館活動におけるスポーツ推進、勤労者の健康増進のための企業の応援		
目標値	成果指標	現況値 (R3)	目標値 (R8)
	健康・スポーツ教室・ウォーキング教室の参加者数	1,380 人	1,800 人

3. 「支える」スポーツの推進

主な取り組み	■市民スポーツの振興を図るために子どもから高齢者、障がい者まで、誰もが気軽に安心して利用できる拠点の充実を図ります。		
主な事業	コミュニティスポーツ推進組織の育成、各種教室の実施、スポーツ施設の整備と充実		
目標値	成果指標	現況値 (R3)	目標値 (R8)
	スポーツ人材バンク登録者数	31 人	60 人

<役割分担や協力の考え方>

市民・団体等	事業者等	行政
■健康を維持する上で、体を動かしたり、スポーツを行うことの必要性を認識し、健康づくりやスポーツ活動の習慣化に向けて取り組みましょう。	■事業所内でスポーツ指導員が健康運動を指導したり、市内スポーツ施設の利用料を負担したりするなど、勤労者の健康増進を図りましょう。	■市民がスポーツをする機会の充実と安心して利用できる拠点の充実を図ります。

施策 3-5 文化振興の推進

<対応する主な SDGs>



<基本方針>

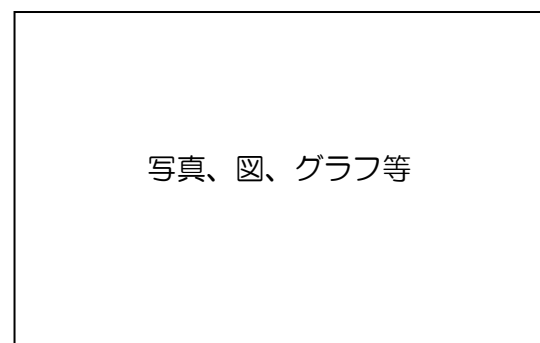
- 世界や日本に誇る文化財の保存と活用を図るとともに、市民が文化活動に参加し、多様な文化や文化財等の地域資源に触れることで、地域に誇りと愛着を持ち、未来へ文化を継承する地域づくりを目指します。

<現状と課題>

- 金銀山に関連する遺跡や寺社等の建造物、伝統芸能など、様々な地域資源が全域に分布しており、国・県・市の指定文化財等は、県内有数の質と件数を誇ります。これらの地域資源を後世へ守り伝えていくためには、適切な保存と積極的な活用が必要ですが、過疎化や価値観の多様化を背景とした社会環境の変化と地域活動の停滞等により、困難となっています。そのため、市民意識醸成に向けた取り組みや活動への支援を行う必要があります。
- 少子高齢化により地域文化を支える人材や文化団体が減少して行くことが危惧されており、担い手育成が大きな課題となっています。そのため、地域資源を活用した学習機会の提供や普及啓発活動を通して郷土愛を育むとともに担い手の育成につなげる必要があります。
民謡団体数 (R2 22 団体 R12 見込 3 団体) ※R2 (一財) 佐渡文化財団調査結果より
- 博物館及び資料館の年間来館者数は、平成 28 年度 67,744 人以降減少が続いており、令和元年度では 52,347 人となっています。このままでは後世に佐渡の歴史や文化を伝えていくことが困難になっています。
令和 2 年度に実施した子ども向けイベントでは 1 日で 554 人 (年間来館者数の 9%) もの来館があったことから、市民向けに博物館を活かした講座やイベント等を開催するなど、博物館事業の充実に取り組む必要があります。

<関連計画等>

- 佐渡市教育大綱
- (仮称) 佐渡市文化振興ビジョン
(策定中: R4.3 策定予定)
- 佐渡市歴史文化基本構想
- 各種指定・選定文化財保存活用計画



<施策の展開>

1. 世界遺産を核とした地域資源の保存と活用

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■世界遺産の構成資産や関連する国文化財の保存と活用に向けた取り組みを推進します。 ■地域資源の適切な保存と活用を推進するために必要な支援を行います。 		
主な事業	世界遺産史跡・建造物保存整備事業、博物館・資料館運営事業、佐渡金銀山ガイドランス運営事業、佐渡学推進事業、文化財管理事業		
目標値	成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)
	世界遺産構成資産の整備件数	1 件	8 件

2. 郷土愛の醸成と担い手の育成

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■佐渡の文化や自然を学ぶ機会の提供や普及啓発活動を行います。 ■体験機会の提供により、地域文化の担い手育成に繋がる取り組みを行います。 		
主な事業	世界遺産登録推進事業、佐渡学推進事業、博物館・資料館運営事業、ジオパーク推進事業、生物多様性戦略事業 (GIAHS)、埋蔵文化財調査保存事業		
目標値	成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)
	各種普及啓発事業の参加者数	4,190 人	5,300 人
	地域文化体験ワークショップ参加者数	150 人	300 人

3. 博物館事業の充実

主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ■学芸員等の専門知識を活かした博物館講座を開催します。 ■子ども向けイベントの充実に取り組みます。 		
主な事業	博物館・資料館運営事業		
目標値	成果指標	現況値 (R2)	目標値 (R8)
	博物館及び資料館の来館者数	30,359 人	66,000 人

<役割分担や協力の考え方>

市民・団体等	事業者等	行政
<ul style="list-style-type: none"> ■様々な文化を楽しみながら、地域の文化を守り、育てる担い手として、様々な形で文化活動に参加し文化を支えていきましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ■事業を行う際には、地域の宝である文化財等の保存などに配慮しましょう。 ■市民の文化活動を理解し、活動を支える力となりましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> ■文化財の保存活用に対する取り組みを推進します。 ■文化活動の機会を提供し、積極的な情報発信や普及啓発を行います。